

令和5年8月10日（木）福山市立旭小学校

【夢あふれる学校図書館見学会の様子】



【参加者アンケートより】

- ・ 子供たちが来たくなる図書館で、自校もこのような図書館にしたいと思いました。本の分類も、分かりやすくシールが貼ってあったので、子供たちも元の場所に返しやすく、きれいな状態を維持できるのだと思いました。そして、教室の前に、授業に関連のある本を置いているなど、本を身近に感じることでできる学校だなと思いました。
- ・ 明るい部屋、新しい本が入るスペース、座れる床やじゅうたん...前任校で学校司書さんと目指した図書館がここにありました。転任して、今の学校では直接図書館を担当してはいないのですが、教室の本の入れ替え等アイデアを出しながら少しずつ取り組んでいこうと思います。
- ・ 学校図書館の環境がとてもきれいでした（床がマット、本棚が低く本を手に取りやすい、白を基調としていて明るいイメージ）。分類がテーマごとになっていて細かく、背表紙にも分かりやすくシールが貼ってあるので、返却時に自分で戻せる仕組みも素敵だなと思いました。子供の心が開かれるような素敵な空間でした。
- ・ 児童が通る場所に本があることが印象的でした。また、「動かす」をテーマにされ、子供たち自身でつくる図書スペースや、本の紹介など、自主性を大切にされていることがとても学びになりました。
- ・ たくさんの蔵書を、図書館内で美しく展示・配架したり、各教室や廊下の、子供たちが手に届きやすい場所に配置したりすることで、いつでも本を自由に読んだり、借りたりで

きることが素晴らしいと思いました。また、学校図書館補助員の先生と、教職員のみなさんや、地域・保護者の方々と連帯して、授業や朝読書、行事等、校内での様々な時間を通して、「本」を中心とした取組がなされていることも、大変勉強になりました。

- ・ 先生だけ、子供だけが動くのではなく、保護者や地域の理解があってこそできることがあると感じました。例えば、劇や、フリースペースの整備などです。

本がどこにでもある環境で、いつでも本が読めるよう、場の設定や指導も多くされていると思いました。

- ・ 学校図書館のリニューアルで、素晴らしい図書館になっていました。3階の、子供たちが作った学校図書館別館も素晴らしく、子供の独自性あふれるものになっており、子供たちが喜んで使っているのではないかと思います。学級文庫もたくさん本があって充実しているなど実感しました。
- ・ 子供に寄り添う、子供と共に作る場が、図書館に限らず、学校の中にたくさんあることが素晴らしいと思いました。学校教育目標に向けて、図書館を活用する、授業を変えていく方向性が見えました。旭小学校の先生方、たくさんの学びをつくってくださり、ありがとうございました。
- ・ 子供が図書館に足を運びたいくなるよう、今ある本のディスプレイの仕方や委員会児童との取組を考えていこうと思います。また、学級文庫の在り方など、他の先生と共に考えていきたいと思います。
- ・ 現在、本校では、学校図書館の本を教室に置くことはあるものの、それを貸し出すことはしていないので、学校でも相談し、貸出しOKにすることと、学校全体として学級に置く本の充実をしたいと思いました。また、学校図書館がどうしたら使いやすくなるか、私一人ではなく、委員会の子供たちや先生とも相談していきたいです。本日学んだことを学校に持ち帰り、参考にさせてください。
- ・ 校内の、図書館以外の場所に本を配架する。学級文庫の充実。全職員、全授業での「本」に関する取組を行う。地域・保護者の方々との連携。
- ・ 校内フリースペースを読書の場として活用すること、学校図書館への誘導掲示物。
- ・ 本校では、学校図書館リニューアルの予定はありませんが、なんとか子供たちが来やすい、入りやすい図書館にできるようにするところからやってみたいと思いました。子供たちが、子供たちの手で、本を読みたくなるように何ができるかを考えてもらえる声かけもしていこうと思いました。

